

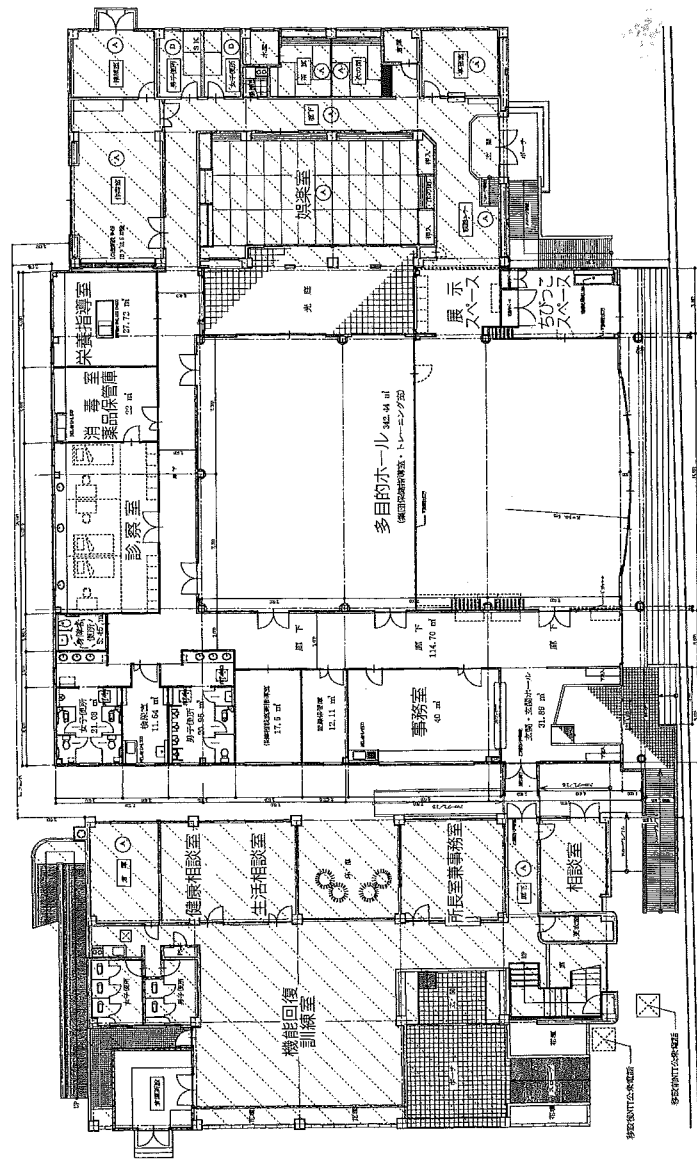
治水事業の沿革は、昭和二十四年八月の大洪水をかえりみ二十五年から官人橋地点における計画高水流量を二、二〇〇 m^3/s とし改修に着手した。その後四十六年から直轄河川に編入されたが、二十五年から四十五年までの間に特別失業対策事業を含め約三三億円を投じ改修を促進した。この間の最も大規模な工事は嘉瀬橋下流の水路工事である。これは河道一、二〇〇 m の蛇行区間を直線化することにより、六〇〇 m 短縮するものであり、二十五年から四十年までの一六六年間を要し総額約三億七、〇〇〇万円を投入した。またこの工事に要した用地は約三〇万平方メートルであったが、地元の計画的な農地交換により用地買収も完了し、当時を記念した碑が現在佐賀市嘉瀬町に設置されている。



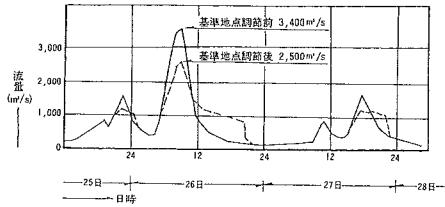
嘉瀬川改修 (ショートカット)

六 治水・水利

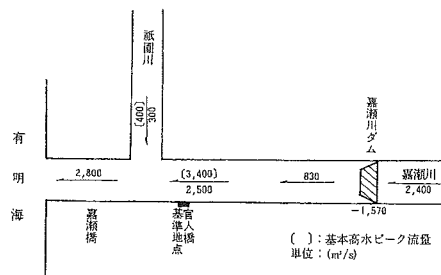
(一) 河川防災



洪水調節図
(昭和28年6月波型)



計画高水流量配分図



ダム諸元

ダム		貯水池	
河川名	嘉瀬川水系嘉瀬川	集水面積	128.4km ²
位置	佐賀郡富士町大字畑瀬	湛水面積	約2.5km ²
型式	重力式コンクリートダム	総貯水容量	約65,000,000m ³
地質	花崗岩	サーチャージ水位	標高300m程度
高さ	約97m		
長さ	約480m		
堤体積	約1,160,000m ³		

流量の増加が計画されたが、再拡幅のための再用地買収が困難ということから河道掘削による流量増が計られ、このため塩水朔上防止と嘉瀬橋上流にある徳万井堰の改築を合わせた嘉瀬川大堰が四十九年に着工され平成四年に完成した。

1 嘉瀬川ダム

概要

嘉瀬川はその源を神埼郡三瀬村の脊振山に発し、山間部を流下して神水川、天河川、名尾川を合わせ、我が国多数の穀倉地帯である佐賀平野を貫流して有明海に注いでいる。その流域は佐賀市、神埼郡、佐賀郡、小城郡の一市三郡に跨がり、流路延長五七キロ、流域面積三六八平方キロの河川である。嘉瀬川の治水工事は河口から官人橋迄の間、約一六・六キロの区間について建設省直轄河川改修事業として実施しているが、いまだその安全度が低い。嘉瀬川上流部(佐賀郡富士町)に嘉瀬川ダムを建設して洪水調節を行うと共に、下流の流水の正常な機能の維持、及び都市用水の供給、特定灌漑用水の供給を行なおうとするものである。ダムは重力式コンクリートダムで、その高さは約九七メートル、総貯水容量は約六、五〇〇万立方メートルである。

目的

①洪水調節

嘉瀬川ダムにより、基準地点官人橋での基本高水ピーク流量三、四〇〇m³/sを二、五〇〇m³/sに低減さ

せ洪水被害の軽減をはかる。

②流水の正常な機能の維持

ダム地点下流の既得用水の補給を行う等、流水の正常な機能の維持と増進をはかる。

③特定灌漑用水

嘉瀬川周辺及び白石平野の農地灌漑用水の補給。

④ 都市用水

佐賀市及び周辺都市に都市用水を供給する。

2 嘉瀬川大堰

嘉瀬川河口より約六・九キロさかのぼった所に「徳万堰」というコンクリートづくりの固定堰があり、嘉瀬川の水はこの堰により、農業用水、上水道、工業用水道などの水利用にあてられていたが、堰の川床高が約三・〇メートル突き出しているため、今日の嘉瀬川における洪水時の安全な流れを妨げることになる。したがって、嘉瀬川の災害に対する新しい改修計画に基づいて建設されたのが嘉瀬川大堰である。

この堰は可動堰なので、洪水や塩害などの災害状況に合ったゲートの開閉により、固定堰では限界のある洪水・塩害対策に大きな力を発揮する。

嘉瀬川大堰諸元

可動堰	総延長一〇二・五メートル（低水路部）
形式	溢流式鋼製ローラーゲート（三四・〇メートル×四・九メートル×三門）
敷高	T・P（十）一、四〇〇メートル
常時満水位	T・P（十）二、七〇〇メートル
管理橋	一四八・五メートル 幅五メートル（活荷重合成桁）



嘉瀬川大堰

魚道

二カ所（左右岸）

形式 階段式（幅二・〇メートル×六一・九メートル）

完成年

平成四年

3 海岸保全

久保田町の南は有明海に面し、海岸堤防は昭和九年から同三十七年にかけて代行干拓事業として築造された、沖積粘土の極軟弱層を地盤に築造された石積みの直立堤防で、度重なる自然の脅威のなかで有明海沿岸の住民は有明海独特の高潮や台風襲来の度に堤防決壊の危険にさらされてきた。

堤防は背後地域住民の生命線となっていたのでこれを補強し、自然の猛威から防護し、住民の生活の安定と国土保全のため、佐賀県の主体事業として進められた海岸保全施設整備事業の高潮対策事業の指定を昭和四十一年六月三日に受け、佐賀郡関係町が同一事業に取り組んだ。久保田町は、昭和四十七年に採択、有明海沿岸久保田海岸（江戸、弁財地先海岸）防護面積三五五畝、補強堤防の長さは四、七六二メートルに及んだ。これにより八七戸、三七五名の生命財産と町が防護される備えができた。



有明海岸堤防

事業目的

堤防盛り土及び押さえ捨て石によって堤防の安定強化を図る。

グラウト等によって漏水防止工をする。

堤防の舗装を全面的に改修する。

老朽化した樋門及び排水施設の改修を行い、地区内排水の向上を図る。

消波工を設けて波浪、越波を軽減する。

(二) 佐賀土地改良区

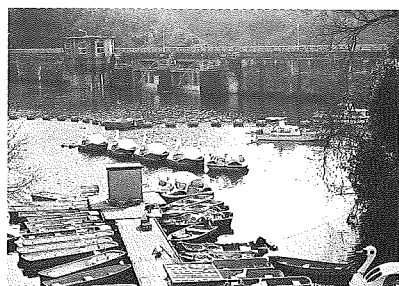
嘉瀬川水系には、従来左岸に市の江、大井手、右岸に西芦刈水道、東芦刈水道の四土地改良区があつて夫々嘉瀬川から引水する灌漑施設の維持管理をしていたが、これらは何れも古い旧藩時代からの慣習等を水利組合が踏襲し、昭和二十四年土地改良法の制定に伴い組織変更され土地改良区に移行したものである。しかし、時代の推移と社会情勢の著しい変化による水利用の高度化は進むばかりで、用水不足は増大し平均五年に一回位の干害を蒙るといふ事態が出現した。この解決策について昭和九年頃から検討が重ねられ幾多の困難を経て漸く昭和二十四年に至り農業用水の確保に万全を期すべく国営嘉瀬川農業水利事業が着工された。

その後事業は順調に進捗し、昭和三十二年三月北山ダムの完工を見るに及び昭和三十三年七月その管理母体として四土地改良区による嘉瀬川土地改良区連合が設立されたが事業の進展に伴い、四土地改良区が管理していた

施設はその好むと好まざるとに拘らず逐次廃止せざるを得なくなり、土地改良事業の変更を余儀なくされる段階に到った。

此処において四土地改良区の合併問題が台頭し、昭和三十六年八月始めてその協議を行い、合併による新土改良区を設立することに決定した。その後これに係る構想、諸条件等について熟慮検討を重ねられ漸く、昭和四十四年九月十六日佐賀土地改良区が誕生、同時に嘉瀬川土地改良区連合を解散して一切の業務を継承することになった。

組合員数	八、九〇六名	出先機関
総代	一一〇名	北山ダム管理事務所
理事	二二名	川上頭首工管理事務所
監事	五名	左岸管理所
職員定数	一二二名	右岸管理所



北山ダム

(三) 農地防災

町内を縦横にはしる水路は、従来用水と排水を兼ねた水路として、下流に流れた水は樋門・樋管及び排水機により、河川や有明海へ排水されている。町内のような緩勾配の低平地では、有明海の潮汐の影響を受け、満潮時には自然排水能力に制限を受ける。したがって、湛水の影響を受ける区域は内陸部の奥深くまで及ぶ。更に、近

年の地盤沈下・都市化の進展などによる他動的要因に起因して流失形態が変化し、有明海の干潟の発達とも関連し、排水能力の低下が生じ慢性的な湛水被害が顕著になっている。排水区の湛水被害を解消するため、自然排水を有効に利用し、最悪の場合はポンプによる排水が必要である。

国営久保田第一排水機場（下新ヶ江）

久保田第一排水機場の排水区は三日月町以南国道四四四号線以北の嘉瀬川と福所江川に挟まれた流域面積七九五畝（内農地面積五八九・八畝）の地区である。主として樋門による自然排水で、有明海の潮汐の影響を受けていた。排水の効率化を目指し、ポンプによる排水の負担を軽減するよう、国道四四四号線沿いに西側の福所江川に向かって排水路を整備し、流末に排水機場を設置した。

排水機場及び排水路は環境に配慮し、地域住民の「憩い」と「休養」の場となり、低水時でも魚類などの生息が可能となるよう考慮した。

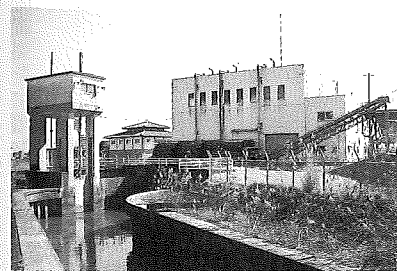
排水機 ポンプ排水能力 五・〇立方 m^3 /sec（横軸軸流ポンプ 一二〇〇×二台）

原動機 ディーゼルエンジン 七〇PS×二台

排水路（計画排水量一〇・四七立方 m^3 /sec水路底幅一〇・四 m

水深一・七四三 m ）

魚巢ブロック及び石積護岸水路 五七〇 m^2 、階段工 二カ所



排水ポンプ第一（下新ヶ江）

国営久保田第二排水機場（江戸）

久保田第二排水機場の排水区域は、久保田町の国道四四四号線以南の嘉瀬川と福所江川にはさまれた、流域面積四八〇畝（内農地面積三五〇畝）を受益とする地区である。

当該排水地区の湛水被害を解消するため、排水路を南北方向に水路整備し、途中水路整備が済んでいる用排水路・潮遊池を経由して、流末に排水機場を設置する事とした。

排水機場

ポンプ排水能力 二・五立方 m^3 /sec

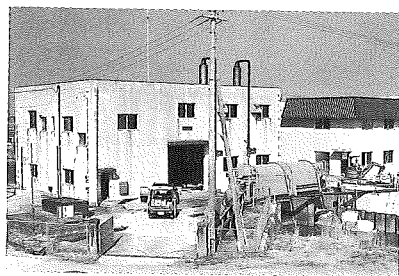
（横軸斜流ポンプ 一、〇〇〇 m^2 ×一台）

原動機 ディーゼルエンジン 一七〇 KW （二三〇ps）×一台

総工費 約七億円

工事の経緯

久保田第二排水機場は、機場敷地内を通る付け替え水路を平成十二年六月末から平成十二年十一月中にかけて施行。機場本体を平成十三年四月から平成十四年三月にかけて施行予定。ポンプ、除塵機についても平成十四年三月末までに完了し、平成十四年六月に管理使用協定を久保田町と結ぶ予定である。



排水ポンプ第二（江戸）

県営地盤沈下対策事業佐賀中部地区 福富排水機場

事業の目的 地盤の沈下を防止するため、地下水の採取が法令等（S四十九、七佐賀県公害防止条令、S六十
筑後・佐賀平野地域地盤沈下対策要綱）により規制されている地域において、地盤沈下、農村地
域の都市化、流域開発等農家に責任を求められない他動的要因によって、農地、農業用施設の機
能が低下している。その機能を従前の状態に回復する必要があることから、農業用排水施設の改
修を行い、併せて災害の未然防止を図ることにより、農業経営の安定と県土の保全に資する。

位置 久保田町大字新田字福富（福富）

排水量 三・〇立方尺/sec

事業費 排水機場 七六七、〇〇〇千円（負担区分 国五五% 県三九% 地元六%）

（国土交通省受託 一〇三、八〇〇千円）

工期 平成七年度～平成十二年度

流域 久保田町大字新田、大字徳万 本地区は嘉瀬川右岸の久保田町で国道四四四号線以北、主要地方
道佐賀外環状線の東側に展開する流域面積二六九〇の低平地である。

県営排水対策特別事業 久保田第一・第二地区

位置 久保田町大字久富字西新地（第一）排水量 三・〇立方尺/sec（二八〇立方尺/min）

事業費四二五、〇〇〇千円

久保田第二地区 排水量 五・〇立方尺/sec（三〇〇立方尺/min）

事業費五七五、〇〇〇千円

工期 昭和五十四年度～昭和五十八年度

事業目的 受益面積三八一、〇〇〇の湛水の排水並びに地下水の低下を図ることにより、水田の転作可能な汎用農
地とし農業生産基盤の確立ならびに農業経営の安定向上に資することを目的とする。

(四) 水辺公園

県立森林公園

本公園は、県都佐賀市と久保田町にまたがり、一級河川嘉瀬川河川改修（ショートカット）により生じた旧河
川敷を利用した都市公園である。昭和四十三年に明治百年記念事業の一環として農林部において整備に着手して
以来、平成八年度までに面積約五二・四〇の広域公園として都市計画決定を完了し、佐賀県における広域的スポ
ーツレクリエーション活動の一大拠点施設として整備を進めている。

昭和五十四年度までに、中央入り口、県民の広場、テニスコート、アスレチック広場等の当初計画区域約一
八・三を開設した。その後、平成二年度からは、約一八・三を第一期拡張工事に着手し、平成十年七月には、
芝生広場、自然池、せせらぎ広場等の約八・二を開設した。さらに、平成十一年四月には、十数年に及ぶ県民
待望の施設「みどりの森県営球場」を、同年八月には、九州最大規模のアーチェリー場の供用を開始した。

平成十四年度までには、桜つつみ広場、西側入り口、河川敷親水広場の整備を概成し、スポーツレクリエーションパークとして、生まれかわる。

事業種別 都市計画年公園(都市公園等)一体整備促進事業)

公園種別 広域公園

計画面積 約五二・四畝

事業期間 平成二年度～平成十四年度

事業費 約一四、〇〇〇百万円

拡張部主要施設 芝生広場、自然池、シンボル噴水、桜つつみ広場、(野外ステージ・展望休憩所)、みどりの森県営球場、アーチェリー場、西側入り口(駐車場)、幹線園路橋、河川敷親水広場

本公園は、行政区画としては久保田町内にあり、狭い久保田町の土地を県に譲渡して造成されたものであり、県民に広く活用されることを願っている。

クリーク公園

久保田町が目標とする、「あふれる清流とさわやかな緑の町づくり」の主要施策として、ふるさと創生(地域づくり推進事業)により整備したもので、町の特性で



池と芝生広場



みどりの森県営球場

ある雄大な自然をベースに歴史的遺産であるクリークを最大限に活用し、水の重要性、人と水の関わり、融和をテーマに町民が気軽に散策できる「いこいの広場」「ふれあいの場」として計画した。

公園内もさまざまな工夫を凝らし、変化に富んだ施設を配置している。

公園の主な施設

光の親水エリア(水辺の園路、角材の親水階段、夕涼み広場、川辺のハナミズキ並木、菊橋、四阿)

動の親水 〳 (太陽の広場、時計と噴水、十二支石、自然生態系護岸、おひな橋、しょうぶ橋、パーゴラ)

静の親水 〳 (歳時記広場、菱の実ステージ、せせらぎ水路、メモリアルチビツ子壁画)

事業費総額 三三一、二八一千円

工期 平成三年十二月十六日～平成六年三月十五日

位置 久保田町大字新田(思斉中学校北側)

水辺公園

いつの時代か定かではないが、久保田町には八筋濠といわれる水路があり、嘉瀬川の清流を引き入れ、常に水の絶えることがなかった。人々は自然の恵みに感謝し、農作業に励んできた。クリーク公園は、水について人との関わりを考え、将来の在り方を学ぶ場所でもある。



クリーク公園